

ふれあいロード

(上古川)

※国鉄倉吉線は、昭和60年（1985）3月に廃止された。その後、代替交通手段や線路跡地の整備が進められた。

最大の課題は、廃止後の跡地（線路20キロメートルと9駅の用地65,409平方メートル）の活用であった。



倉吉市では、水と緑と文化のまちづくり協議会が中心となって、「倉吉線跡地利用専門委員会」を設けて協議し、利用計画が決った。

県事業として、福守町から鴨河内間の約6,000メートルの跡地に、約2億円かけて大規模花壇と桜並木が整備された。上小鴨駅舎跡に、ロードステーションとして、案内板、トイレ、遊具などが設置された。



昭和16年当時の上小鴨駅舎

(注)

国鉄倉吉線：昭和16年(1941)5月17日倉吉駅（打吹駅）～関金駅間11キロが開通した。

昭和33年（1958）12月20日に山守まで開通し、更に岡山県勝山まで延長しようと運動したが、廃止になった。